

持続可能な社会の実現に事業で貢献 全社環境大会を開催し、第7次環境中期計画を発表

2018年6月

エスベックグループ全社環境大会を開催し、「第7次環境中期計画」(計画実施期間:2018~2021年度)を発表しました。当計画では、「地球温暖化防止への貢献(製品・サービスの提供)」「環境負荷低減」「エコサイト・エコオペレーション」「汚染防止」「生物多様性保全・社会貢献」の5つのテーマで目標を掲げ、持続可能な社会の実現に事業で貢献する環境経営を推進してまいります。全社環境大会では、特別講演として、日本のCSR/ESGの第一人者である後藤 敏彦氏をお迎えし、ESGやSDGs(持続可能な開発目標)をはじめとする世界の動きとその背景、今後企業に求められる環境経営についてご講義をいただきました。社員一人ひとりが環境について深く考える大変貴重な機会となりました。

※第7次環境中期計画については、P32・P34をご覧ください。

特別公演

環境経営への期待の高まり

ESG、SDGs等世界の動きとその背景

特定非営利活動法人
サステナビリティ日本フォーラム

代表理事 後藤 敏彦 氏



〈プロフィール〉

(一社)グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン経営執行理事、NPO法人日本サステナブル投資フォーラム理事・最高顧問、(一社)グリーンファイナンス推進機構理事、(一社)環境パートナーシップ会議理事、認定NPO法人アースウォッチジャパン理事、認定NPO法人環境経営学会 会長、地球システム・倫理学会常任理事、エコアクション21中央事務局参与・運営委員、環境省事業/環境情報開示基盤整備事業WG座長、環境報告ガイドライン改訂委員会委員、環境コミュニケーション大賞審査委員、日中韓三カ国環境大臣会合(TEMM)付設環境産業円卓会議(TREB)団長など多数の委員会の座長、委員を務める。東京大学法学部卒。

いきものにぎわい企業活動コンテスト 「公益社団法人国土緑化推進機構理事長賞」を受賞

2017年12月

エスベックとエスベックミックが福知山市大江町毛原自治会と取り組んでいる森林保全活動「毛原の森づくり活動『宝の山づくり』—京都モデルフォレスト運動」が、第6回いきものにぎわい企業活動コンテストにおいて、「公益社団法人国土緑化推進機構理事長賞」を受賞しました。

いきものにぎわい企業活動コンテストは、生物多様性の保全や再生に資する活動を展開している企業・事業者を顕彰し、広く内外に広報することによって、活動のさら

なる広がりを促進することを目的とした表彰制度です。毛原の森づくり活動では、「毛原の森に生息する多様な生物」=「お宝」と位置づけて新たな森の魅力を発掘する「宝の山づくり計画」を策定し、いきもの見所マップの制作やウォーキングコースの整備などを進めています。また、この活動は「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」が推奨する事業※として認定を受けています。

※2010年にCOP10(生物多様性条約第10回締結国会議)で採択された「愛知目標」の達成に向け、各セクター(国、地方公共団体、事業者、国民など)の参加と連携を促進するために設けられた制度



毛原の森づくり活動



国内の環境試験器メーカーで初めて、地球温暖化への影響がより小さい低GWP（地球温暖化係数）※1冷媒を搭載した環境試験器をラインアップします。地球温暖化の抑制に向け、欧州のFガス規制※2をはじめ、世界各国でフロンガスなどGWP（地球温暖化係数）の高いガスの使用を制限する動きが活発化しています。こうしたなか、エスペックは2017年7月、国内の環境試験器メーカーで初めてFガス規制に適合した低GWP冷媒「R-449A（GWP1397）」を搭載した「冷熱衝撃装置 TSAシリーズ（水冷式）」を発売し、2018年3月には、「ハイパワー恒温（恒湿）器 ARシリーズ 急速温度変化タイプ」



冷熱衝撃装置 TSAシリーズ（水冷式）

ハイパワー恒温（恒湿）器 ARシリーズ
急速温度変化タイプ

「プ」を発売しました。さらに、2020年度までに全製品の対応を完了する予定です。今後も、環境負荷を低減した製品の開発・普及に取り組んでまいります。

※1 二酸化炭素を基準にして、他の温室効果ガスがどれだけ温暖化能力があるかを表した数字のこと。値が小さいほど環境負荷が少ない。

※2 欧州では、温室効果ガスのHFC（ハイドロフルオロカーボン）、PFC（パーフルオロカーボン）、SF6（六フッ化硫黄）をFガスと呼び、これらのガスの大気中への排出を抑制するための規制を設けている。環境試験装置は2020年から規制対象となり、GWP2500以上の冷媒を搭載した製品についてはEU域内での販売が禁止される。

高度加速寿命試験装置

2018年10月

HASTチャンバーがグッドデザイン賞を受賞

2017年11月にモデルチェンジした高度加速寿命試験装置HASTチャンバーが、公益財団法人日本デザイン振興会より「2018年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

本製品は、電気・電子部品に高温・高湿・高圧力の3つのストレスを与えて寿命を短時間で評価する試験で使用されます。操作性と視認性を高めたカラータッチパネルの新しいコントローラーを搭載したほか、試料信号端子を色分けして配線の接続を容易にするなど、装置の使いやすさを大幅に向上させました。また、パソコンなどで試験装置を遠隔監視・操作できるネットワーク機能も追加しています。

今回の受賞では、装置の使いやすさが象徴的にデザインされている点が評価されました。

**GOOD DESIGN
AWARD 2018**



生物多様性ワーキンググループ

2018年3月

「Let's Try Biodiversity!」を発行

私たちは「電機・電子4団体※環境戦略連絡会 生物多様性ワーキンググループ」に参画し、業界団体で連携して生物多様性保全活動を推進しています。

2018年3月には、「企業が取り組むはじめての生物多様性 Let's Try Biodiversity!」を発行しました。本誌では、生物多様性保全に初めて取り組む事業者を対象として具体的な活動事例を多数ご紹介しており、企業の生物多様性保全活動に活かしていただけるよう情報発信しています。

※ 一般社団法人日本電機工業会（JEMA）、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）、一般社法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMA）

